

当院での新型コロナウイルス感染症対策について

当院では、1月初旬より新型コロナウイルス感染症対策の一環として、病棟や外来における対応を検討し実施しております。一部、皆様にもご協力いただく点がございます。感染症が院内で伝播してしまうことを予防するために必要な対応です。ご協力よろしくお願いいたします。

1. 外来における患者さん同士、患者さん医療従事者間の一定の距離確保

新型コロナウイルス感染症は、手の届く範囲内での会話等がウイルス伝播リスクになると言われています。



待合室や診察室において、可能な限り患者さん同士や患者さんと医療従事者同士が一定の距離を保てるよう配慮しています。

2. 感染症を疑う患者さんとそうでない患者さんとの院内での動線分離



エレベーターの専用化



院外での対応

エレベーターは換気条件が悪く、病原体が一定時間浮遊する可能性が示唆されています。エレベーターで患者さん同士や患者さんと医療従事者が交差しないよう、使用の制限をしています。

新型コロナウイルス感染症に罹患している可能性がある患者さんは、院内で診察は行わず敷地内に設置したテントを使用して診察をさせて頂いております。

3. 感染対策の実施

換気をよくすること、環境を介したウイルスの伝播を予防すること、手指の衛生を保つことが重要だとされています。当院でも以下の対応を行っています。



施設内での換気促進



環境整備実施強化



手指衛生実施促進

4. 担当する職員と感染管理部門との連携

感染対策を推進する感染対策チームと、関連する部署とが協力し感染症患者さんの対応を行う予定です。
その一環として、感染対策実施方法の確認やシミュレーション等を定期的に行っています。



5. 病棟間の分離や新型コロナウイルス感染症受け入れ病棟での医療従事者チーム分け

当院の一部のフロアでは、病棟同士が隣接しています。病棟ごとのエリアを明確にするため、写真のように仕切りを設けています。

さらに患者さんを受け入れる病棟では、感染症患者さんとそうでない患者さんの動線を分け、担当する職員も交差しないよう担当を分けています。感染対策を講じた上で、さらに医療従事者間、患者さん間での感染症伝播予防に努めています。



6. おわりに

当院は八国山緑地に隣接しており、緑豊かな環境の中ご療養頂けます。

